

# 今後の獨逸

山看不受世間灌漑

# 白雲雨雨時報

**NOTÍCIAS DO BRAZ**  
 Publicado semanalmente  
**Rua Conselheiro Furtado**  
 No. 89  
**Caixa Postal H**  
**S. Paulo, Brazil**  
**Proprietário e editor**  
**Seisaku Kuroishi**

近頃日本から來た人々に日本の様子を問ふと皆一樣に著しい變化を挙げた。右も左も前も後も上も下も總てが民主的になつたと云ふのである。また或る人々は私に「君は隨分民主的な」と云はれたことがあり、「君の云つたり書いたりすることは浪人うきこの爲ることだ、帝國官吏ていこくかんしの爲す可かることでない」と叱責しっせきされた人もあつた。實申し上げると私自身は其麼そのものよりも徹底した民主主義を抱持してゐる。思ひのではないが、云ふことを書くことが卒直そくじきでそれがまたそれ等主義に合する。

子の外ではないか。ウ氏は世界人類の爲めに奮闘するは政府が國民の爲めに努力するご同様の私心もなく恰も忠實なる召使が主人の爲めに獻身して只管開拓に従事してゐるのである。而かも此等の同胞家族には目映く金塊を探ぐる燐然たる金剛石に憧れるが如き冒險的突飛なる思想にて今少しく筆歩を進めて現住家族に就て廣大無邊、地味飽迄も肥沃なるを見んに一家族三人平均として五百人、一家族平均一ロツテナアルケモうか其處ことは私は知らぬ。近着の努力し眼前に立ち塞る森林を何レースの面積を所有すとせば一萬極東誌はタンクの新用途として曰く時しか伐り開きて綠々たる陸稻の畑千アルケーレス(四萬二千五百町歩)日本道路はタンクの重量に堪へを造り或は棉園となり、斧の響山刀となるが此等の同胞中には六年乃至ない、殊に橋梁は猶更である。ではの音は更らに遠く深く進むばかりで四年の受負契約をなして新西班牙に九百家族なりしが十二月に至る三ヶ月間に此處に集屯したる家族は八百にして現下一千七百家族が額に汗に各歳此の災害に遭遇するこせば荒蕪の地に只一作物をなすよりも豐沃なる處に複數をなすが遙かに大なる利益を享するは理の當然である。

田畠の中を曳き廻つたばかり。總ある、何んぞ人力の威大なる！人力勞働に從事するもの五百家族内外あり便途がある。東京は火事が多いは悉く青毛糰の烟と美化して幾百年の間作をなす半獨立農家があるが耕火事は大江戸の花どやら、そんな時の後に至る迄人類を養ふ諸穀を産す作をなす點に於て將た又收入の點に於てはなく只廣大なり。此のタンクを持ち出して焰々たると想へば眞に貴きは農である、苟於て獨立農者と大差なきを以て茲に狂火の中を遁二無一に驅けさせたら且にも居を伯國に移して將來を開拓する新作面積を一家族に付三アルケーレ恐らく寸刻にして鎮火するであらうの同胞は特別特殊の技倆を有せざるス(七町五反歩)となせば五千百アル面面白い非肉ではないか。寧ろ摸倣し限り什麼しても農に頼つて其の道をケーレス(一萬二千七百五十町歩)ごた陸軍よりも極東記者の六寸子の考究く外はない、農を以て世に起たんなるのである、この三アルケーレ斯案の方がより以上價値あるかも知ぬとせば土地の撰定を忽かにすべからに米と紺とを半ばして栽培し、米の私共は常に自己を離れてはならぬ。らざること已に余輩が述べたる如く收穫を一アルケーレに付百五十俵ご怡度土を離れてはならぬ様に常に物である、若し夫れ一度土地の撰擇をするれば一アルケーレ半に付二百二十我對興を必要とする。他を比判し研誤らば百年の恨を遺すこととなる。五俵を產出し、一俵十五ミルレース究するは體て自己の比判であり自己の研究である。其所に進歩があるのに茲に意を用ひてノロエステを撰定したるは決して偶然ではない、然ス。讀書百遍義自ら通すると云ふのは義自ら案出するのである。徒に識者の或者はノロエステの土地肥沃相場をせば三コントス三百七十五人の説に輕信盲従するの愚を學ぶ満なるを是認し諸作物に好適せるをことなくよく分析し解剖し且つ又綜肯定しながら屢々天災の襲ふを悲觀合して自己固有の美點を失はず發展すと聞く之れ甚しき驚怖と謂はねせしむる様にせねばならぬ、山看はばならぬ、當州に於て農家の最も恨みの灌漑を受けざるもの其の香味芳及早魃である、而してノロエステ

◎我觀ノ口エス



## 日本近信

●歡聲帝城を繞りて沸く

●盛觀を極めたる東京の休戦祝賀會

●日比谷の祝賀會

●何等の莊嚴なる光景ぞ！

●聯合國大公使の歡喜の色

●平和を象る黃菊白菊の朝霜が解けて

●幸寧を祝福する東京市主催の休

●戰條約締結祝賀會が行はれる日な

●高帽が少時である、旗持つ人、行く人、電車を

●捨てる人、其凡てに喜悦と満足の色

●公園の正午頃を占領した午後一時

●時四十分となれば此日の主人役たる

●田尻東京市長は勤一等の略綬に一昔

●前の説きを語らせて、日比谷門の縁

●開隨一の人氣者野田大塊遞相が自働

●車を乗入れる頃には英國大使グリー

●ン氏を始めとして

●白耳義公使ドラファイユ伯等聯

●合國の大公使が今日を晴れと紹羅び

●やかな姿を運び込んだ、今し帝國の

●日章旗を中心にして兩側へ張り続ら

●された聯合國々旗を以て包む音樂堂

●雄偉な光景であらう、梅干のや

●う市長の顔も、七六かしいグリー

●ン大使の顔も、剣刀の如く見ゆる

●居並んだのである、何といふ

●モーリス米大使の顔も、何もかも式

●場に立つ皆んなの人が春らしく温か

●に弛んで見えるのである、平和！さ

●うだ、皆な平和な顔である、慶たき

●を高唱しつゝ一同門口に向つて行進

●の東京市長田尻稻次郎氏を中心して

●下萬歳を三唱し空行く

●◆云をも動搖めかす計りの勢ひで

●◆祝へや祝へ全世界、正義は平和を

●◆齊せり、交戦已に五週年、固く結

●◆依つても肺炎は半數近くあるがい

●◆フルエンザ菌は一つもなかつた然

●られて西北隅からナンドヤモンジャ

●經濟界に一大景氣をつけたる爲め平和

●を始めたる東京の休戦祝賀會

●戰勝の國に彌爽なり平和の輝き

●盛觀を極めたる東京の休戦祝賀會

●何等の莊嚴なる光景ぞ！

●聯合國大公使の歡喜の色

●平和を象る黃菊白菊の朝霜が解けて

●幸寧を祝福する東京市主催の休

●戰條約締結祝賀會が行はれる日な

●高帽が少時である、旗持つ人、行く人、電車を

●捨てる人、其凡てに喜悦と満足の色

●公園の正午頃を占領した午後一時

●時四十分となれば此日の主人役たる

●田尻東京市長は勤一等の略綬に一昔

●前説きを語らせて、日比谷門の縁

●開隨一の人氣者野田大塊遞相が自働

●車を乗入れる頃には英國大使グリー

●ン氏を始めとして

●白耳義公使ドラファイユ伯等聯

●合國の大公使が今日を晴れと紹羅び

●やかな姿を運び込んだ、今し帝國の

●日章旗を中心にして兩側へ張り続ら

●された聯合國々旗を以て包む音樂堂

●雄偉な光景であらう、梅干のや

●う市長の顔も、七六かしいグリー

●ン大使の顔も、剣刀の如く見ゆる

●居並んだのである、何といふ

●モーリス米大使の顔も、何もかも式

●場に立つ皆んなの人が春らしく温か

●に弛んで見えるのである、平和！さ

●うだ、皆な平和な顔である、慶たき

●を高唱しつゝ一同門口に向つて行進

●の東京市長田尻稻次郎氏を中心して

●下萬歳を三唱し空行く

●◆云をも動搖めかす計りの勢ひで

●◆祝へや祝へ全世界、正義は平和を

●◆齊せり、交戦已に五週年、固く結

●◆依つても肺炎は半數近くあるがい

●◆フルエンザ菌は一つもなかつた然

●られて西北隅からナンドヤモンジャ

●經濟界に一大景氣をつけたる爲め平和

●を始めたる東京の休戦祝賀會

●戰勝の國に彌爽なり平和の輝き

●盛觀を極めたる東京の休戦祝賀會

●何等の莊嚴なる光景ぞ！

●聯合國大公使の歡喜の色

●平和を象る黃菊白菊の朝霜が解けて

●幸寧を祝福する東京市主催の休

●戰條約締結祝賀會が行はれる日な

●高帽が少時である、旗持つ人、行く人、電車を

●捨てる人、其凡てに喜悦と満足の色

●公園の正午頃を占領した午後一時

●時四十分となれば此日の主人役たる

●田尻東京市長は勤一等の略綬に一昔

●前説きを語らせて、日比谷門の縁

●開隨一の人氣者野田大塊遞相が自働

●車を乗入れる頃には英國大使グリー

●ン氏を始めとして

●白耳義公使ドラファイユ伯等聯

●合國の大公使が今日を晴れと紹羅び

●やかな姿を運び込んだ、今し帝國の

●日章旗を中心にして兩側へ張り続ら

●された聯合國々旗を以て包む音樂堂

●雄偉な光景であらう、梅干のや

●う市長の顔も、七六かしいグリー

●ン大使の顔も、剣刀の如く見ゆる

●居並んだのである、何といふ

●モーリス米大使の顔も、何もかも式

●場に立つ皆んなの人が春らしく温か

●に弛んで見えるのである、平和！さ

●うだ、皆な平和な顔である、慶たき

●を高唱しつゝ一同門口に向つて行進

●の東京市長田尻稻次郎氏を中心して

●下萬歳を三唱し空行く

●◆云をも動搖めかす計りの勢ひで

●◆祝へや祝へ全世界、正義は平和を

●◆齊せり、交戦已に五週年、固く結

●◆依つても肺炎は半數近くあるがい

●◆フルエンザ菌は一つもなかつた然

●られて西北隅からナンドヤモンジャ

●經濟界に一大景氣をつけたる爲め平和

●を始めたる東京の休戦祝賀會

●戰勝の國に彌爽なり平和の輝き

●盛觀を極めたる東京の休戦祝賀會

●何等の莊嚴なる光景ぞ！

●聯合國大公使の歡喜の色

●平和を象る黃菊白菊の朝霜が解けて

●幸寧を祝福する東京市主催の休

●戰條約締結祝賀會が行はれる日な

●高帽が少時である、旗持つ人、行く人、電車を

●捨てる人、其凡てに喜悦と満足の色

●公園の正午頃を占領した午後一時

●時四十分となれば此日の主人役たる

●田尻東京市長は勤一等の略綬に一昔

●前説きを語らせて、日比谷門の縁

●開隨一の人氣者野田大塊遞相が自働

●車を乗入れる頃には英國大使グリー

●ン氏を始めとして

●白耳義公使ドラファイユ伯等聯

●合國の大公使が今日を晴れと紹羅び

●やかな姿を運び込んだ、今し帝國の

●日章旗を中心にして兩側へ張り続ら

●された聯合國々旗を以て包む音樂堂

●雄偉な光景であらう、梅干のや

●う市長の顔も、七六かしいグリー

●ン大使の顔も、剣刀の如く見ゆる

●居並んだのである、何といふ

●モーリス米大使の顔も、何もかも式

●場に立つ皆んなの人が春らしく温か

●に弛んで見えるのである、平和！さ

●うだ、皆な平和な顔である、慶たき

●を高唱しつゝ一同門口に向つて行進

●の東京市長田尻稻次郎氏を中心して

●下萬歳を三唱し空行く

●◆云をも動搖めかす計りの勢ひで

●◆祝へや祝へ全世界、正義は平和を

●◆齊せり、交戦已に五週年、固く結

●◆依つても肺炎は半數近くあるがい

●◆フルエンザ菌は一つもなかつた然

●られて西北隅から





